

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：アイン武蔵小杉保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：坂本 里朱	定員（利用人数）：70名
所在地：〒211-0012 川崎市中原区中丸子1246-6	
TEL：044-434-0551	ホームページ：https://www.ein-group.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2014年8月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：中央出版株式会社	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：8名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 17名 看護師 1名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	保育室 事務室・医務室
	調理室
	配膳室
	相談室

③理念・基本方針

<アイン武蔵小杉保育園の理念>

みらいを生き抜く力を育てる

今の子どもたちが大人になるころ、多種多様な社会問題、環境変化を乗り越えないといけない時代です。私たちは子どもたちに、挑戦する心、あきらめない心、感謝の心を持ち、元気な大人になるための環境を提供します。アイン保育園は、愛情を持った「共育」を実施し、生きる力と夢を持った子どもを育てます。

<アイン武蔵小杉保育園の基本方針>

1. 安心と安全を第一に考える
2. 子どもと大人が共に学び、成長する
3. 利用者、地域のニーズに応える
4. 豊かな人間性を持った子どもを育成する

④施設・事業所の特徴的な取組

●アイン武蔵小杉保育園の運営法人は、中央出版株式会社(以下、法人という)です。法人の保育事業本部は横浜と名古屋に事務所があり、グループ園は横浜市に6園、川崎市に3園、名古屋市に3園、長久手市に1園の計13園を運営しています。各園は法人の本部と連携し、法人の方針と園独自の特色を出しながら運営しています。

●アイン武蔵小杉保育園は、JR横須賀線側のホームの横須賀線口から400m位のところに位置し、園の前・周囲には東横化学（ガストロニクス）の社屋や建物が点在し、四つ角には環境局の中原生活環境事業所があります。武蔵小杉駅周辺には高層マンションやショッピングモール、レストラン等が続々とオープンし、アクセス環境も利便性の高さを誇り急速に発展している一方、北側には自然豊かな多摩川があり、市民のオアシスとなっています。横須賀線口方面に位置するアイン武蔵小杉保育園の辺りは、以前京浜工業地帯のバックヤードとした下請け工場の跡地に高層マンションが南下してきている傾向にあり、新旧入り混じる閑静な住宅街が続き、若い世代も増え、子育て支援のニーズの高い地域です。

●グループ園の特徴的な保育サービスは、モンテッソーリメソッドを取り入れており、子どもたちの「生きる力」を育む保育を実践している点にあります。モンテッソーリ教育、自由保育、共育の3つの柱を基に保育を実践しています。アイン武蔵小杉保育園では、独自のサービスとして、幼児対象に保育園内で習い事としてできる英語教室を実施し、ネイティブスピーカーによるレッスンを受けることができます。また、体操教室や習字教室も開講し、保護者のニーズに大きく応えています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 9月 5日（契約日） ～ 2020年 6月 26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【モンテッソーリ教育の乳児からの展開】

●アイン保育園全体としてモンテッソーリ教育を特徴とし、モンテッソーリメソッドの考え方、教具等を取り入れ、未来を担う子どもたちの豊かな人格形成の育成に力を入れています。アイン武蔵小杉保育園では特に、低年齢の乳児の時代からモンテッソーリ教育を行い、生活習慣を身に付けるトレーニングの一環としています。例えば、モンテッソーリでの「片付ける」習慣を生かし、着替えの時に衣類をたたむことに興味を持たせ、子どもが“自分でやりたい”と思う気持ちを大切にしながら取り組んでいます。アイン武蔵小杉保育園では、子ども一人ひとりに合った進め方で、その後の幼児期のモンテッソーリ教育へとつなげています。

2. 【家族を含めた『共育』の推進】

●保育理念の「愛情を持った共育を実施し、生きる力と夢を持った子どもを育てます」を基に、子どもと大人が共に学び、成長する『共育』という精神を根幹に、アイン武蔵小杉保育園では、保護者に対しての子育て支援を保育者も共に学び、子育ての強化に努めています。ベビーマッサージ、読み聞かせの方法等、保護者と保育士が一緒に行い、共に学び、共育を実践しています。職員は、子どもに最適な「育成・教育とは何か」を常に念頭に置いて保育に当たり、子どもたちの自立心・自由意志の尊重

し、子どものチャレンジ心を後押しする姿勢、行動に努めています。

3. 【特別レッスンの取り組み】

●アイン武蔵小杉保育園では特別レッスンとして、ネイティブスピーカーの講師による英会話のレッスンを実施しています。英語教育に関してはリスニング(聴くこと)、スピーキング(話すこと)を中心としながら、歌やダンス、ゲーム等の遊びを通して子どもたちが楽しみながら異文化体験に触れ、自然と英語が身に付くよう工夫をしています。特別レッスンでは、子どもの吸収力や思わぬ可能性の発見等、将来の人格育成の育みに寄与しています。

◇改善を求められる点

1. 【さらなる地域交流について】

●アイン武蔵小杉保育園の課題として、近隣保育園、小学校との交流及び地域支援を挙げていますが、園の周囲は工場、川崎市の中原生活環境事業所等に囲まれ、民家は少ない環境です。課題解消の1つとして、園の周囲から範囲をやや広域に広げ、公立センター園との連携で地域ネットワーク化を進めたり、地区センターとの協業などによる地域支援（育児講座等）を図る等、幅広い展開が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： アイン武蔵小杉保育園

施設長： 坂本 里朱

<評価に取り組んだ感想>

2日間、本園の保育に対する姿勢・取り組みについて評価していただき、細かな点まで様々なアドバイスをありがとうございました。

園児が明るく元気にのびのびと成長している姿を評価していただき、また地域との連携（公園清掃や育児支援）などへも関心を持ち、ご評価いただけたことが大変嬉しく、自信にもつながっております。

開園から6年、初めて第三者評価を受けるにあたり、自分たちの保育を改めて振り返る、とても良い機会となりました。

<評価後取り組んだ事として>

1. 保育の質の向上、見直し
2. 保護者支援、サポートの強化
3. 地域の育児支援

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり